



広げよう新技術
つなげよう未来へ

建設現場の生産性革命元年!!

国土交通省では

「i-Construction (アイ・コンストラクション)」

を推進しています

継続学習制度 (CPDS) 認定プログラム
(一社) 全国土木施工管理技士会連合会認定

新技術展示会
新技術プレゼンテーション
UAV(ドローン)競技会(6/2)

未来を創る技術がここにある

EE東北'16 ガイドブック

ENGINEERING EXHIBITION TOHOKU'16

EE東北実行委員会

「E E 東北 ’16」開催にあたって

東日本大震災の発生から5年2ヶ月が経ちました。復興道路をはじめ、災害公営住宅や社会基盤整備などの事業は着実に進み、4月から新たな後期5カ年「復興創生期間」がスタートし、東北の復興は、新しいステージに入りつつあります。

復興を支える建設技術を紹介する「E E 東北」は、時代のニーズに対応して開発された建設関連分野に係わる新材料・新工法などを多数出展し、普及促進を図り、良質な社会資本の整備を通じて地域の発展に寄与することを目的として、平成2年度から開催してまいりました。

26回目の開催となる今年の「E E 東北 ’16」では、『広げよう新技術つなげよう未来へ』をテーマとして、304の出展者による832技術の展示を行います。

メイン会場では復旧・復興に関する技術分野をはじめ、国土交通省が生産性向上へ向けて推進する「i-Construction（アイコンストラクション）」の中核となるICT技術を活用した新たな建設技術や長寿命化対策、予防保全技術等の最新の技術を6つの技術分野に区分して展示しております。

また、特設ステージでは、復旧・復興、施工段階、維持管理・予防保全や防災安全、建設副産物等をテーマとした新技術プレゼンテーションが昨年度を上回る規模で行われます。さらに、隣接会場では、昨年度から普及が加速化するUAV（ドローン）の競技会も開催されます。

国土交通省では、本年を「生産性革命元年」と位置付け、総力をあげて生産性向上に取り組む方針が示されております。この取り組みを推進するためにも、より多くの方々に最新技術を見て、聞いて、触れていただき、より多くの新技術が各地の現場で効果が発現され、生産性の向上と復興を一段と加速する東北を力強く支えてくれることを期待しております。

最後に、今回の「E E 東北 ’16」の開催にあたりご支援、ご協力をいただいた皆様に、御礼を申し上げるとともに、震災の記憶を風化させず東北地方の復興とさらなる発展に向けて「E E 東北 ’16」が役立っていくことを祈念してご挨拶とさせていただきます。

平成28年6月

「E E 東北 ’16」実行委員会

委員長 東北地方整備局 企画部長

鈴木 研司

建設技術公開「EE 東北'16」の概要

広げよう新技術 つなげよう未来へ

目 的

建設事業に係わる新材料、新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と良質な社会資本の整備を通じて、社会に寄与することを目的としています。

※EEとは英語のEngineering Exhibition（エンジニアリング エキシビション）の略で、新技術を広く公開するという意味が込められています。平成2年から開催されており、今回で26回目の実施となります。

実施内容

●開 会 式

6月1日(水) 10:00～ 夢メッセみやぎ本館 屋内展示場前コンコース
・開会宣言 E E東北実行委員会委員長
・あいさつ 東北地方整備局長、国土交通省来賓
・テープカット

●新技術展示会

6月1日(水) 10:00～16:30 夢メッセみやぎ本館 屋内及び屋外展示場
6月2日(木) 9:30～16:00

●新技術プレゼンテーション

6月1日(水) 11:00～16:12 夢メッセみやぎ本館 屋内展示場特設ステージ
6月2日(木) 9:45～15:18

●UAV（ドローン）競技会

6月2日(木) 9:45～16:00 夢メッセみやぎ西館 展示場

●その他の展示等

地震体験車「ぐらら」の体験コーナー（6月1日のみ）、学生向け出展企業紹介コーナー、大学関係研究室の展示、東北地方の高校生が製作した「橋梁模型」作品展示、その他パネル展示等

主 催

E E東北実行委員会（委員長：東北地方整備局 企画部長）

【構成団体名】

一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、一般社団法人建設コンサルタント協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社

後 援

公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、 河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社

技術分野別配置出展者数及び出展技術数

技術分野	技術分野配置 出展者数(社)	出展技術数 (件)	うちNETIS登録技術
A 復旧・復興に関する技術分野	57	145	86
B 施工段階の技術分野	57	147	75
C 維持管理・予防保全の技術分野	102	279	98
D 建設副産物・リサイクル等の技術分野	13	33	12
E 防災・安全等の技術分野	57	168	56
F その他共通の技術分野	18	60	14
計	304	832	341

※出展者は、代表技術の分野のエリアに配置される。

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

所属別出展者数及び出展技術数

団体名	'16		'15	
	出展者数 (社)	技術数 (件)	出展者数 (社)	技術数 (件)
(一社)日本建設業連合会	25	62	22	57
(一社)日本道路建設業協会	13	36	11	33
東北建設業協会連合会	3	9	7	14
(一社)日本建設機械施工協会	13	45	10	28
(一社)東北コンクリート製品協会	14	45	13	35
(一社)全国特定法面保護協会	5	14	5	13
(一社)日本埋立浚渫協会	5	11	5	13
(一社)建設電気技術協会	6	12	6	12
(一社)建設コンサルタンツ協会	22	64	14	47
単独出展	198	534	217	593
計	304	832	310	845
NETIS登録件数		341		350

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

EE東北の経緯

	EE東北' 12	EE東北' 13	EE東北' 14	EE東北' 15
開催日	H24.10.24~10.25	H25.6.5~6.6	H26.6.4~6.5	H27.6.3~6.4
開催場所	夢メッセみやぎ	夢メッセみやぎ	夢メッセみやぎ	夢メッセみやぎ
出展者数(社)	295	290	298	310
出展技術数(件)	661	682	782	845
来場者数(人)	9,760	12,000	12,800	14,000

※EE東北は、平成2年から開催しており、今回で26回目となる（EE東北' 11は中止）。